

1 基本情報					
施設名又はグループ名		指定管理者名及び団体概要			
多摩部の公園グループ		(指定管理者名)	西武・多摩部の公園パートナーズ		
		(団体の概要)	代表者：西武造園株式会社		
指定期間		構成員：西武緑化管理株式会社、NPO法人NPObird			
H28.4.1 ～ R5.3.31 (7年間)		一般社団法人防災教育普及協会			
2 施設名		3 収支(単位:千円)			公園別支出額
		項目	令和4年度 金額	令和3年度 金額	
陵南公園	内訳	収入 計	302,700	239,050	238,394
小宮公園		指定管理料	302,683	239,050	238,394
滝山公園		利用料金			
大戸緑地		その他収入	17		
		支出 計	277,702	220,141	216,295
4 管理運営の概要		収支差	24,998	18,909	22,099
<p>都市公園等コンクールで国土交通大臣賞を受賞した「地域連携でコロナ禍を乗り越える」取組みを継続実行。各公園特性を活かした事業を、多様な地域連携で行うことにより、シナジーを生み出し、さらなる成果を上げている。今年度初実施のものでは、地域20団体と連携し、「運動・遊び・体験」の多様なプログラムを展開した陵南公園の「ここからSmileFES」に898人が参加。高齢者包括支援センター、地域病院、パークレンジャーが3者連携で、高齢者の「生きる活力」を引き出す「青空広場@小宮公園」は毎月の開催が常に満員。地域店舗、工芸作家などと連携した大戸緑地の「おとお森マルシェ」に541人が参加。また甚大な被害となったナラ枯れについては、利用者の安全第一優先に、計画的かつ迅速に対処。さらにafter枯れの樹林地管理について、本来の地形、植生、生息生物などに配慮した計画の作成に着手。特に小宮公園では生物多様性保全利用計画に基づいた、あらたな雑木林管理を開始している。滝山公園の「遺構を見せる維持管理計画」では、21箇所の歴史遺構を、管理計画に基づいて「見せる保全」を展開。各公園で国土交通大臣賞受賞年を上回る成果を上げ、その個性を輝かせた。</p>					
5 管理状況（維持管理）					
<p>【1.適切な維持管理を行うための取り組み】全公園で専門家による定期施設点検、パークスキャン、樹木の一斉点検、樹木医による診断を実施。問題の早期発見に努めた。また「パークモニタリングアプリ」を活用し、過去作業、問題個所をデータベース化し、デジタルデータ予防保全システムを確立した。陵南公園では園内の公園灯（47本）、スピーカー（6本）全53本の調査を実施。鉄柱の根元の腐食の有無や異常の確認実施小宮公園では同じく10月から3月にかけて園路整備を継続し、常に歩きやすい園路の提供に努めた。滝山公園では築城500年を迎え、遺構を見せる維持管理を継続し魅力向上につなげた。大戸緑地では、昨年度に引き続き、案内看板の耐水性塗料をしようした塗装とはす池の改修作業を実施。池に雨水がスムーズに入り込むように取水口の清掃及び枝葉等が入り込まないようゴミ受けを設置、生物多様性の向上に繋げた。</p> <p>【2.事故、自然災害や感染症等を未然に防ぐための安全対策、発生時の対応】大量発生したナラ枯れに対し、計3回の被害調査を実施。4公園計400本以上の被害木の中で園路付近の木を優先的に404本処理し安全な園路提供につなげた。陵南公園では、民地境界部のケヤキを含む4本の落葉樹の伐採作業を実施した。腐食菌と虫による被害を受けており、倒木等の事故を未然に防ぐため処理を実施。大戸緑地では、男女トイレの手洗いを自動水栓に交換。非接触型の水栓にすることで汚れた手などで蛇口に触れず洗うことができ、感染症拡大防止と衛生面の向上に繋げることができた。また、だれでも里山コースと草地広場にある凹み（幅約15cm、長さ約6m）を簡易アスファルトで解消し安全な園内環境を提供できた。</p> <p>【3.要望対応や施設補修、施設改良への取り組み】利用者や近隣住民から広く意見を収集し、PDCAにより迅速、適切に処置。陵南公園では、遊具広場がある分園トイレの手洗い台が高いという声を受け、子供用の踏み台を用意。小宮公園では、園路のがたつき、段差解消を約60箇所実施、滑りやすい木道については景観を損なわない滑り止め剤を塗布し、感謝の声を多数いただいた。大戸緑地では、「山桜のおか」の眺望伐採を実施。約50m範囲の支障木を伐採し、頭頂部から山向こうの景観が望めるようになりより楽しめる場所となった。</p> <p>【4.丘陵地特性をふまえた植生管理】陵南公園では、ばったランド管理計画を更新。周辺部と連続させ景観と保全の両立を目指す。小宮公園では、ボランティア協働の保全地区を27箇所設け、野草の見どころ作りや、希少種の保全を実施、園内絶滅寸前のハンノキは、ボランティアが育成した苗が順調に生育。ほとんど花をつけなかったツクバトリカブトは数十株が大株に育ち多数の花を付け、新たな公園の見どころを創出した。また、今年度新たに萌芽更新したエリアでは、生物多様性保全利用計画に基づき、これまでの一定面積皆伐ではなく、その場所の本来の地形、動植物に配慮した、アフターナラ枯れの樹林地管理を始めた。全公園404本（小宮公園200本、萌芽更新のナラ枯れ処理も含め250本）のナラ枯れを利用者の安全を優先する計画的伐採で利用者影響を最小限に抑えた。</p>					
6 利用者アンケート結果					
実施方法：					
施設名	総合満足度	植栽管理	施設の清潔さ	安全・安心	職員への対応
陵南公園	4.6	4.5	4.5	4.5	4.6
小宮公園	4.6	4.5	4.4	4.3	4.4
滝山公園	4.7	4.4	4.6	4.4	4.7
大戸緑地	4.6	4.5	4.7	4.5	4.8
7 入園者数の状況（単位：人）					
施設名	当該年度	分析			
陵南公園	318,352	<p>地域の高齢者支援施設との初共催による「ここからSmile FES」や、地域住民の健康増進を図りたいとの要望を実現した「さわやかノルディックウォーク in 陵南公園」の初開催など、新たな企画が好評を得て、のべ1,147人が参加し、地域と連携して賑わいを作り出すことに成功した。また、秋に行われた地域イベント「八王子子どもまつり」や「八王子いちょう祭り」では、公園プログラムの実施や緑を活かした休憩スペースの提供など、積極的に協力したことで、多くの来場者に公園の魅力を発信することができた。さらに、近隣町会への回覧、SNSでの発信、地域情報誌への掲載など、積極的な広報が功を奏し、来園者の増加につなげることができた。</p>			
小宮公園	263,548	<p>昨年度と比較すると、利用者は年間を通して減少しているが、保育園等の団体利用件数は増加した。世代を問わず楽しめる季節イベント「四季＊はなワードラリー」や「花摘みイベント」は大変好評で多数のご参加があった。また、子育て世代を引き込むイベントや引きこもりがちな高齢者対象イベントも地域連携で年間開催し参加者が増加。ニーズの多い大型イベント「冬＊カフェDay」は、昨年より回数は減少し2日間の実施であったが、700人以上の参加があり大変賑わいを見せた。Web媒体やSNSへの掲載、近隣の学校等への広報強化を図り、イベント参加者増加につなげた。</p>			
滝山公園	67,008	<p>昨年度と比較すると、保育園等の団体利用件数が増加、利用者数も年間を通して増加した。地域連携イベント「滝山城カフェ」の開催や、子供たちの体力向上を目的としたスポーツイベント「忍者になって滝山城跡をたのしもう！」の開催により、歴史ファンのみならず、ファミリー層の利用者も増加した。また、イベント前に遺構を見せるための維持管理や園路整備を行ったことにより、公園の魅力が効果的に伝わり、イベントアンケートの満足度は90%以上を獲得。今後の若い世代の方の利用を上げていくきっかけとなった。</p>			
大戸緑地	2,537	<p>身近な場所で楽しむという「マイクロツーリズム」のニーズを受けて発行した「多摩部の公園周遊マップ」を積極的に周辺エリアで配布したことで認知度が向上し、新規利用者とりピーターの増加につなげた。また、町田市主催の緑地活用に向けた意見交換会に参加したり、地域イベントでPRブースを設置するなど、周辺へのアウトリーチを強化した。さらに、日本を代表する写真家や著名なクラフト作家による体験プログラムなど、ニーズを捉えた公園の魅力を活かす企画が好評となり、遠方からも公園を訪れる方が増加し、利用促進を図った。</p>			
合計	651,445				

都立陵南公園

<目標と取組方針(陵南公園マネジメントプランより)>

- ・地震災害時への対応のため、防災機能を強化・充実した都立公園
- ・東京の水と緑の骨格軸の形成に寄与する都立公園
- ・スポーツによる健康づくりの場となる都立公園



【所在地】八王子市
【開園面積】5.9ha



子ども・子育て世代・高齢者、三世代が交流できる場を作りたいつくりたい！

1

新たな連携が生まれ、多世代型ヘルシーパークが進化！

心と身体を元気にする多彩な30種のプログラムで、地域市民の健康づくりを支えた！

身体のヘルシー

陵南公園からはじまる多世代型交流健康イベント！

地域の20団体と連携！「ここからSmileFES」

■「運動」「遊び」「体験」をテーマに交流を促す
20種のプログラムを実施！好評の声多数！

新たな地域の繋がりも
生まれ大成功！



のべ898人が参加!!

(上)青空と緑に包まれたフラダンスのステージ
(左下)親子でポッチャ体験 (右下)子どもの走り方教室の様子

あったらいいなをみんなで作る公園プロジェクト！

初

歩いて元気！「さわやかノルディックウォーク」

■新しい地域団体と初共催！体験・測定など健康をテーマに、
10種のプログラムを展開！健康増進の機会を提供！

野球場をフル活用して、
健康増進の機会を提供！



南浅川沿いを歩いて
小宮公園への
コースを踏破！

のべ389人が参加!!

■周遊マップを活用して公園から
ウォーキングコースを提案。
公園と公園をつなぐマイクロ
ツーリズムが実現！

多摩部の都立公園周遊マップ

心のヘルシー

みんなで心を癒す
花壇づくり！



(上)「ボランティアDAY」では、講師とサポーターで季節の植栽！ (右)広報用のフライヤー

「ガーデニングDAY」「ボランティアDAY」で年間を
通して心を癒す花壇空間を来園者に提供！

■ガーデンサポーターが活動にイベントに大活躍！
各種プログラムの実施で協働による花壇づくりを推進！



「ガーデニングDAY」では、みんなで土づくりを実践

2 地域と自然を繋いだ生態系のヘルシーを実現！

生態系のヘルシー

■かえる救出ボランティアで身近な自然に急接近！

毎年実施しているじゃぶじゃぶ池のかえる救出ボランティアを、今年度は誰でも自由に参加できるちよいポラ方式で実施。いつも遊びに来ている公園で貴重な保全体験ができたこと参加者から高評価！



じゃぶ池稼働前に池の中のオタマシヤクシを救出！

(上)親子でカエルの卵を救出
(左)初めてのカエルの卵との触れ合い

■ばったランドを地域の身近な存在へ！

・計画に基づいた維持管理を継続して実施し、ショウリョウバッタモドキの定着を促進。秋には普及啓発看板を設置し、ばったランドの入口を広げるなど散策しやすい工夫した

・地域の小学校の総合学習を積極的に受け入れ、ばったランドの生きものや管理について公園の取り組みを紹介。翌日、総合学習に参加した生徒が親と一緒に来園しばったランドを散策するなど、地域の利用の輪が広がった



今年も見つけたよ！



子ども達と一緒にばった探し！

3 地域連携が加速！コラボレーションで親子のふれあいの場を提供

■子育て支援×冒険遊び×助産師×学生×クールセンター「KIDS DAY」夏・冬のべ3回開催！

のべ参加者167人



(上)市の子育て支援担当による親子遊び
(右)学生企画のダンボールハウスづくり

地域のつながりで子育て支援を推進！



公園の自然素材を活用し、親子でクリスマスクラフト体験

4 積極的なアウトリーチで、もしもに備え、地域ともに防災力UP！

初

■自治体、住民と共に実施！「災害時給水ステーションの運用訓練」を初公開！



自治体職員が施設や給水のことを説明

■地域防災イベント初出展！施設の紹介動画を活用し公園の防災機能を紹介！



ブースを出展では、動画やクイズで施設を紹介

5 トイレのアメニティ向上で快適な施設を提供



(左)暖房便座及びウォシュレットに交換(東だれでもトイレ)
(下)自動洗浄化(分園だれでもトイレ)

子ども用踏み台(分園トイレ箇所)

■子どもから大人まで使いやすい、快適で安全なトイレへ改修を実施！

【その他の改修】便座交換、扉指挟み防止、和式トイレつまり改修、だれでもトイレ鍵交換、子ども用踏み台3基設置など

6 地域住民・利用者の声を遊具改修や運営に反映！



たくさん集まった想いあふれるみんなの意見

■東京都が整備工事で行う遊具広場リニューアルに向けて、意見収集に協力

■現場の利用者の声を集める「わくわくワークショップ」を開催し、118人のニーズやアイデアを収集！

7 地元をバックアップ！2大祭りで地域を元気に



(上)3年ぶりの太鼓ステージ(子どもまつり)
(下)「Tokyo・Tokyoゾーン」大好評(いちよう祭り)

■「子どもまつり」「いちようまつり」の2大地域イベントの3年ぶりの通常開催に向けて、のべ10回を超える打合せや会議で事前調整。のべ約170の出店・出演等の運営をバックアップし、安心安全な開催を支えた！

その他の取組み

・常緑樹の剪定を行い、第二展望広場からの眺望を改善
・都民の要望でじゃぶじゃぶ池を早期解放

・全自動芝刈機の継続運用により品質の高い野球場を提供
・ホームページのレスポンシブルデザイン化を実施 など

都立小宮公園

<目標と取組方針(小宮公園マネジメントプランより)>

- ・地震災害時への対応のため、防災機能を強化・充実した都立公園
- ・多様な生物の貴重な生息・生育空間となる都立公園
- ・子どもたちの健やかな成長の場となる都立公園
- ・都民や企業等とのパートナーシップを推進する都立公園



【所在地】八王子 【開園面積】25.1ha



新たな連携で新イベント！

1 0歳～高齢者・全世代対応。地域共催で環境教育拠点事業がさらに拡充！

「理学療法」と「自然とのふれあい」を合わせた高齢者向け健康イベントが大人気！

初 毎月開催！「あおぞら体操」@小宮公園

65歳以上

■高齢者あんしん相談センターが健康相談を、地域病院の理学療法士がフレイル(要介護)予防体操を指導。パークレンジャーがガイドウォークで自然の魅力を伝え、生きる活力UP!!



全回
満員御礼



健康相談

八王子市高齢者
あんしん相談センター

フレイル予防体操

地域の大病院
理学療法士

自然の魅力を伝える

パークレンジャー
パークコーディネーター

Happy Healthy
Senior Life!

■児童館と公園が、一日だけの“子供都市”を創り、子供たちが運営。350人参加！

復活 3年半ぶり開催！こどもシティ

小中高生+おとな

■2つの児童館と公園が共催する、地域一丸のイベント「こどもシティ」が3年半ぶりに復活。手づくりの仮想都市で子供通貨を使い、働き、遊ぶ！公園からは、環境を考えられる仕事として薪割(再利用)を提供

環境に良い仕事(薪割)で
子供通貨をもらえ！
ナラ枯れ伐採木の
再利用



子供通貨を使い、
手作りのお店で遊ぶ

小宮公園

地域のこども
地域のおとな

みんなでこどもを
育てる公園

■子育て相談・整体ストレッチですっきり！レンジャーとふわふわ散歩も人気！

初 毎月開催 親子でおひさまストレッチとおしゃべりの会

0～2歳+ママ



楽しいおしゃべり・ストレッチ



自然を楽しむコツお伝え

■楽しいおしゃべりで子育て不安解消。整体ストレッチで体もすっきり！さらに、パークレンジャーが散歩しながら、親子で自然を楽しむコツ、園内の子育てスポットをお伝え。

ママをゆるませたい
Kicca (地域団体)

パークレンジャー
パークコーディネーター

Happy Healthy
子育てPark

■その他の環境教育成果 : ビンゴ・ミニ図鑑などセルフガイドシート15,000枚超、総合学習受け入れ500人、キッズレンジャースクール、様々な質問を受け付け回答をホームページや園内掲示する「生き物なぜ?なぜ?ウィーク」

2 プロジェクト開始6年 絶滅していたアカガエル2種を復活！

■ 地域で絶滅が心配される両生類2種、ヤマアカガエル、ニホンアカガエルの地域遺伝子での繁殖に成功！

2017年度	・自宅でヤマアカガエル、ニホンアカガエルを繁殖させている地域の方から詳細ヒアリング ・以前、滅した池に生息していた地域遺伝子の個体群であるカエルであることを確認
2018年度	・園内の大谷沢に仮設ダムを造設。カエル類の産卵場所を作り、ヤマアカガエルの卵約250個を導入。アカガエル類の繁殖用のビオトープとする
2019年度	・繁殖用のビオトープにヤマアカガエル400個、ニホンアカガエル100個の卵を導入
2020年度	・2月、アカガエル類の繁殖用のビオトープでヤマアカガエルオス3頭を確認。産卵はなし（メスは成熟に年数がかかることが知られている）
2021年度	・園内の弁天池（地域共有地）でヤマアカガエルが産卵。28卵塊（卵の数約7,000個）を確認 弁天池、センター内、ビオトープの3箇所へ危険分散
2022年度	・ビオトープに箱罠を設置（環境省許可済）。カエル類の食害が心配されたアライグマ2頭を捕獲処分。弁天池でヤマアカガエル30個、ビオトープでニホンアカガエル7個の卵塊を確認



初産卵確認のニホンアカガエル



30卵塊産卵のヤマアカガエル



ビオトープ内に産卵された卵塊



餌を探すアライグマを捕獲駆除

■ ニホンアカガエルは、園内初の産卵を確認。カエル類を食害する特定外来生物アライグマも初捕獲駆除に成功。里山生態系の多様性が大きく向上

3 甚大被害のナラ枯れ処理ほか、徹底した安全確保を多数実施



緊急ナラ枯れ処理

■ ナラ枯れ(224本)を危険度から優先順位を定め200本伐採。発生材は、補修資材やイベント活用するとともに景観や自然環境も考慮しエコスタック設置などに



木道滑り止め塗布

■ 滑りやすい材の木道に苦情多数。各種滑り止め措置の試験結果を踏まえ、環境に配慮した滑り止め剤を300m塗布、安全性が劇的に向上。感謝多数



ユニバーサル改良

■ 雑木林内園路の階段の段差が大きくて大変との意見に対し、ナラ枯れ処理等の発生材を詰めた土のう50箇所以上を製作設置。高齢者やお子様にも歩きやすいユニバーサルで“やさしい”園路を実現

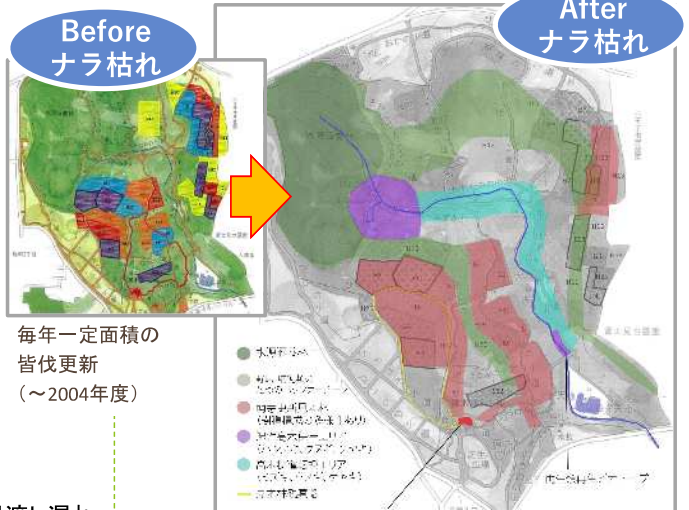


草丈3m迅速な作業

■ 新たに整備された公園地の引渡し遅れにより3m以上にも繁茂したオオブタクサを迅速に処理。最短で開園。小学生も除草に参加。カントウヨメナの復活に繋がった

■ その他の維持管理の成果：通学路フェンス交換60m、都議要望による樹木移植木柵の交換100m、トイレ暖房便座化 など

4 AFTERナラ枯れ管理を始動！ 雑木林管理計画を刷新へ！



毎年一定面積の皆伐更新（～2004年度）

本来の環境などに配慮した雑木林管理計画（2022年度～）

■ Afterナラ枯れへ、雑木林管理計画刷新。生物多様性保全利用計画に基づき、これまでの一定面積の皆伐更新から本来の地形・湿度等の環境、生息する生物を考慮した管理へ

5 初夏カフェ + 冬カフェ 計6回実施！ おしゃれで快適な公園を幅広い世代が支持！



ブックコーナー



冬カフェ名物たき火



冒険遊場の会コーナー



■ 大人気イベント初夏カフェ、冬カフェを計6回実施。子育て世代を中心に多くの人々が訪れ、世代を超えた交流の場を創出。地域のクラフト作家、冒険遊び場の会など多様な協力者を得て、さらに充実展開中！

その他の取組み

- ・ユニバーサルカラー看板の設置
- ・聴覚障害ユニバーサル研修
- ・公園管理運営士講習会の講師として地域連携を紹介
- ・講習講師として地域公民館などを案内
- ・ボラ協働花の見所と希少種保全27箇所
- ・生物多様性保全利用計画の再開に協力
- ・駐車場時間の変更要望を受け試行実験
- ・地元WEBメディアでのイベント告知掲載

都立滝山公園

<目標と取組方針(滝山公園マネジメントプランより)>

- ・多様な生物の貴重な生息・生育空間となる都立公園
- ・都民や企業等とのパートナーシップを推進する都立公園



【所在地】八王子市 【開園面積】31.2ha

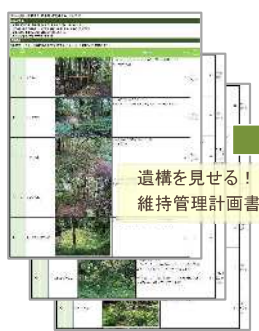


1 「遺構を見せる維持管理」が、公園の魅力を際立たせる！

“土の城 滝山城”の魅力が明確にわかるよう、草刈り等の維持管理を計画的に実施！

計画 作成

■ 地元NPO団体と現地を確認しながら検討を重ね、「遺構を見せる維持管理計画」を作成。屋敷跡、二の丸三連土橋、限定開園地等、全21箇所を整備。城跡の魅力が明確になり、多くの評価をいただいた



「どんな遺構で、何をj見せるために、どんな整備が必要であるか」を検討し作成

活用 (二の丸)

城の見せ場、「絶対防衛ライン二の丸」の説明に整備した遺構を活用(地域NPO団体が中学校総合学習にて)



※赤い網掛け部分が遺構

活用 (大手口)

寄せ手を撃退する「大手口」の説明に整備した遺構を活用(体育と環境教育を融合させた忍者プログラムにて)



※赤い網掛け部分が遺構

様々なプログラムで活用！



■ 遺構も野草も見られるように細かい配慮で維持管理



■ 遺構見学の際に、貴重な野草を踏圧しないよう関係者で協議し、特設園路を設置していた。今回、1mだった園路幅を1.5mに変更。大人数の観察会でも快適に使えるようにした。また、保護区の木製杭をすべて擬木杭に変更、長寿命化を図った

■ 遺構を見せるナラ枯れ処理発生材の処置と活用



■ 屋敷跡・野草観察エリアのナラ枯れを全て伐採し、草刈りも実施。発生した発生材は、ソダ柵として活用したりチップ化処理して敷設。大きな材は遺構景観を阻害しないようエコスタックとして配置するなどした

■ 傷みの激しい引橋を丁寧に補修



■ シロアリ被害でぐらつき始めていた親柱・床版を交換。割れに強いヒノキ材に乾式加圧注入処理木材を使用し長寿命化。「3年ぶりの桜まつりを、きれいで安全な橋で迎えられる！」と地域からも感謝の声！

2 山城跡ならではのイベントを「地域との一丸連携」で展開！！

■「滝山城CAFÉ」開催。山城が家族で楽しめる場所へ



■ 山城にケータリングカーを呼んだ心地よいカフェ空間が大好評。地元NPO団体と連携した山城・自然ガイドや甲冑試着イベントも大人気

■ 日本を代表する歴史学者を迎え勉強会を開催。玄人好みの内容に満員御礼



■ 隣接する大学の講堂を借りて開催。定員いっぱい400名が参加。指定管理者は会場整理などを担当

■ ミズノスポーツの体育と、パークレンジャーの環境教育が融合！城址ならではのプログラムが大好評！



■ 「かわして逃げる」「しのびよる」など忍者の動きに、仙人レンジャーが動物の動きも伝授。豊かな自然も感じ、ロールプレイン的に城址を巡り、免許皆伝を目指せ！



お揃いの忍者Tシャツも好評

3 「地域連携で清掃・道路補修」が滝山スタンダード！

初

■ 管理者が入組んでいる場所「管理地ではないからやらない」では、滝山公園は管理できない。共用部分は地域と協働で維持管理



■ 赤道のため誰も管理しない公園の正面入口「大手口」を八王子市、地域市民と協働で清掃



■ 車両進入時に通行する「少林寺口」園路。大雨による浸食や折れ枝により通行困難に。八王子市観光課、滝山城跡文化協会とともに補修



4 東京都事業等への様々な協力



地域団体からの“刈払い機で作業したい”との要望を受け、安全に関する協定書と現場確認で協力



案内看板の移設要望に対し、皆が見やすい場所に即時移設



城址保存活用検討委員会で、現地の状況説明、委員案内等で協力



公園北側、西側の崩落危険箇所の工事で、関係者と調整し希少種救出



園内のサイン見直しのための設計調査に提案型で全面協力

その他の取組み

- ・総合学習受入れ2件
- ・トイレ前の季節の寄せ植えが好評
- ・アカマツ実生保全
- ・ランドスケープチェック
- ・まちおこし実行委員会と重ね押しスタンプラリー共催
- ・パークスキャン
- ・周遊マップ更新・増刷・配布

都立大戸緑地

<目標と取組方針(滝山公園マネジメントプランより)>
 ・多様な生物の貴重な生息・生育空間となる都立公園
 ・都民や企業等とのパートナーシップを推進する都立公園



【所在地】町田市相原町
 【開園面積】28.4ha



森の魅力を活かした大戸緑地ならではの自然体験を多くの親子に！

1 地域とともに企画・運営「あつまれ！森キッズ」を開催

森の中での自然を活かしたプログラムで、自然体験の機会を提供

思い切り自然体験！多様な体験プログラム・遊びを15種を展開！

プログラムのべ
541人が参加!!



初



初



ここにしかない
遊びで、思い切り
自然体験！

伐採木を活用した丸太渡り、木のブランコ、竹のすべり台など、自然度の高い遊びがいっぱい

■「森のぼうけん遊び」では「冒険遊びの会」と連携し、ナラ枯れによる古損木として伐採したコナラを活用。
丸太渡りや輪切り遊びを初実施！竹を活用したすべり台やブランコやハンモックも子どもたちに大人気！



地元店舗のキッチンカー作家によるワークショップなど、様々な体験プログラムが充実(上)
町田市近隣施設による薪割り・焚き火プログラムも人気(右)

■要望の声も多かった地元の店舗や作家による「おと森マルシェ」を開催。多肉植物や家具作家による体験など、9つの出店が実現。緑に包まれたマルシェに多くの親子が来場！

2 DX活用やプロフェッショナルによる講座で、深山の魅力を発信！



のべ491人が参加!!

初

積極的に
DXも推進！

スマートフォンを使ったモバイルスタンプラリー

■共催でセルフプログラム「たんけんワードラリー」を開催
紙とモバイルのハイブリット方式で、施設をつなぎ、子ども達に楽しみを提供



座学と実践と生演奏もある
充実の内容に
「素晴らしい」との声多数!

植物写真家いかりまさし氏によるフィールドワーク

■日本を代表する写真家から学べる「写真ワークショップ」を共催で開催。参加者の多様な写真スタイルやニーズにも対応し、満員御礼、大好評！



ネイチャークラフト作家が
自然素材の活用方法を伝授!

一つと同じものがない、オリジナルの竹のスプーンづくり

■竹林の整備で出た発生材を活用、「はじめてのアウトドアクラフト」を開催し、自然素材で竹のスプーン作り。ベテランから初心者まで、初めてのスプーン作りプログラムに満足度100%!

3 レンジャーが高尾とつながる自然の魅力を発信！

■パークレンジャーが公園の魅力を紹介！

町田市民大学HATS「多摩丘陵の自然入門」や近隣教育機関を積極的に受け入れ、パークレンジャーによるガイドを実施。東京とは思えない山深い自然を、生きもの解説や保全活動の紹介等しながら案内することで、個人で散策するだけではわからない深い部分まで知ることができ、参加者からは高い満足度を得た



近隣教育機関の子供達を案内



レンジャーによる解説を聞く参加者たち



■季節の植物をわかりやすく紹介！

ユクノキやミゾソバ、カシワバハグマ(霜柱)など、季節ごとに見られる公園の植物を写真付きで紹介。現地までの案内図も一緒に記載して発信したことで、初めて大戸緑地を訪れた方でも現地まで行けるようセルフガイド形式とした



カシワバハグマの霜柱を紹介

■近隣施設のイベントに初出展！

大地沢青少年センターで開催された「探検体験大地沢」へ出展！公園で見られる生きものや公園の魅力をレンジャーが紹介！レンジャーが撮影したセンサーカメラの映像や剥製が人気となり、多くのイベント参加者に公園の魅力をPRすることができた



初

4 現場に合わせた手法で深山の生態系を保全！

■管理から6年で大きな成果！

モリアオガエル保全のため、ビオトープ周辺への植栽、発生材で作成した産卵用支柱の設置、ビオトープ周辺樹木の枝の保養を実施。周辺樹木の枝を維持管理部と調整しながら保養したことで、モリアオガエルの産卵に適した樹木の枝が増え、樹木の枝への産卵が大幅に増加。木道支柱へ産卵して落下する卵塊が減り、孵化率の向上に繋げることができた！

昨年度から大幅な増加！

年度	卵塊総数	木道支柱の卵塊	周辺樹木の卵塊	落下していた卵塊
令和3年度	19個	5個	2個	12個
令和4年度	22個	3個	11個	8個



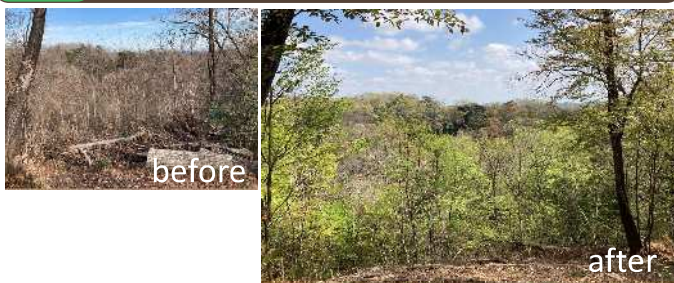
(上)移植作業の様子
(下)産卵用支柱のモリアオガエル



現場にあわせた保全で希少種の住みやすい環境へ！

ビオトープにせり出した樹木の枝に産卵されたモリアオガエルの卵塊

5 山向こうの山桜が美しい景観を取り戻した！



■山桜の丘から50mの支障枝処理を実施。作業前には公園で活動をするボランティア団体と現地を確認し、保護対象の植物に配慮して作業した。発生材でそだ柵を作り作業後の景観にも配慮した

■その他の取組み

- ・利用頻度の高いエリアを中心にナラ枯れ処理を実施
- ・はず池の水量確保のための取水口を整備を実施

6 緑地活用に向け、市内15の施設・団体・農家・学生と連携！



■町田市主催の「みどり活用に向けた意見交換会」に参加。7回の協議を重ね、R5年「緑地活用プラットフォーム」始動！
■緑地活用試行イベント「ずしまちいち」を市立公園で開催。大戸緑地の魅力をPRし知名度向上！

- ・シンボルツリー「ユクノキ」の取り木成功！
- ・保全と維持管理で美しい理想的な竹林景観を実現 など